



人間ばんぱレース



チューブ取りレース



第33回 子ども冬まつり

1月25日(日)、生涯学習センター横のふれあい公園にて、第33回子ども冬まつりが開催されました。晴天の下、会場では子どもたちにホットミルクやポップコーンなどが無料で提供されたほか、各種雪上レクリエーションが行われ、大いに盛り上がりました。

山村開発センターにて、「ひとり暮らし高齢者親睦会」(上士幌町社会福祉協議会主催)が開催されました。会には、町内に在住するひとり暮らしの高齢者125人が出席。また、上士幌中学校の1年生42人がボランティアで参加するなど、約200人が集まりました。生徒は、会場設営や司会進行、配膳などを手伝ったほか、高齢者と一緒に食事を楽しみながら懇談しました。また、ステージでは日本舞踊や生徒による合唱が行

ひとり暮らし高齢者親睦会

1月29日

(特に高齢者)のふところを狙う犯罪が多発している。自分は詐欺に遭わないと思いつつもは大変危険。怪しいと思ったらすぐに家族や知人に相談してほしい。協会でも毎週火曜に相談会を開いているので利用してほしい」と話していました。



那須会長は、「最近、個人

詐欺を防ごう！消費者協会新年学習会

1月22日

上士幌町消費者協会(那須襄太郎会長)が、生涯学習センターで新年学習会を開催しました。

今回のテーマは「詐欺」。

昨年、町民が2200万円をだまし取られる特殊詐欺事件が起きたことを受け、参加した会員は詐欺に遭わないための心構えや対処法について学びました。

大雪山の魅力再発見！セミナー

2月11日(水)、大雪山国立公園の指定80周年を記念して「大雪山の魅力再発見！セミナー」(環境省北海道地方環境事務所主催)が、ぬかびら源泉郷にあるひがし大雪自然館で開かれました。

セミナーでは、学芸員や山岳ガイドらによる講演や標本づくり体験などが行われ、参加者は大雪山の豊かな自然をより身近に感じているようでした。

1・2月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

われ、高齢者の方々が笑顔で拍手を送っていました。



2月1日

第53回町民スケート大会



町民スケートリンクにて、第53回町民スケート大会（上士幌町教育委員会主催）が開かれました。幼児、小学生、中学生・一般合わせて約60人が参加し、タイムを競いました。

2月2日・6日

15組の親子がベビータンゴ



ふれあいプラザにて、子育て支援講座「ベビータンゴ」が、一般社団法人日本ベビータンゴ協会の後藤奈津美さんを招いて行われました。講座には、ベシックコース（2月2日）8組、キッズコース（2月6日）7組の親子が参加しました。

ベースシックコース（写真）では、子どもとコミュニケーションを取りながらできるエクササイズを学び、参加したお母さんたちからは、「赤ちゃんがとても気持ち良さそうだった」「久しぶりに運動ができて良かった。自宅でも実践したい」などの声が聞かれました。

2月3日

大きな声で鬼退治く節分豆まき



上士幌保育所で豆まきが行われ、鬼に扮した年長組に「鬼は外、福は内」と元気よく豆をまきました。

【中学生がスケートで全国出場】

1月22日（木）、第35回全国中学校スケート大会（1月31日～2月3日・長野市）に出場する、上士幌中学校3年の杉山恭一さんと嶋木樹さん、森田恵水さんが役場を訪れ、竹中町長に健闘を誓いました。また、2月6日（金）、第1回全日本ノービススピードスケート競技会（2月13日～15日・札幌市）に出場する同校1年の泉田恭汰さんが教育委員会を訪れ、馬場教育長に意気込みを語りました。



▲「自己ベスト更新が目標」と語った泉田恭汰さん（男子500mおよび1,000mに出場）



▲男子5,000mに出場する杉山さん（中央右）、女子500mおよび1,000mに出場する森田さん（中央）、嶋木さん（中央左）。左端は引率の瀧美紀教諭。

地域を変えてく新しいカ

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 人と人とのつながりを—Facebookでの魅力発信— 記: 商工観光推進員 後藤 典久



みなさんこんにちは。

今年は例年よりマイナス20度以下の日も少なく過ごしやすい冬ですね。私は1月の中旬に風邪をひき、さらに中耳炎も発症して1カ月経ってようやく完治しました。みなさんもお体には気を付けてくださいね。

さて、現在私は観光の情報発信担当をしていますが、今回はその手段のお話をします。観光パンフレットはおなじみですが、近年はインターネットを使用した情報発信が即時性と利用者数の増加（平成23年時点でほぼ1億人）で効果的だと考えられています。

その中でも、最も頻度が高いのがFacebook（フェイスブック）と呼ばれるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス=インターネット上

で個人と個人をつなげる手段）です。特徴は、「いいね！」（情報を評価する手段）をすることで、私たちが発信した情報が人から人へと拡散すること。趣味でつながる個人間（上士幌町に興味がある人同士など）で、人伝えに効果的に情報を発信できることです。

上士幌町観光協会のFacebookのページでは、上士幌の四季折々の様子をお伝えして上士幌町に興味のある方の意識を引き続けることで、来客増加につなげようとしています。みなさんも一度ページをご覧ください、Facebookを使われている方で内容に賛同いただければ、ぜひ「いいね！」をして欲しいと思います。

上士幌町の観光情報発信にご協力をよろしくお願いします！



▲上士幌町観光協会のFacebookページ

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲楽しい予餞会を企画した新旧生徒会のみなさん（3年生の生徒会を含む）

1月30日（金）に3年生を送る予餞会が行われました。今年は生徒会が冬休み前から準備をしていたため、装飾は早めに完成し余裕を持って当日に臨みました。前日の準備には、例年通り各部活動の部員が手伝ってくれてスムーズに進行できました。

生徒会長の関口璃乃（2B）さんは「3年生が入場する前までに徐々に時間が押してしまったけれど、プログラムはうまくいき3年生に笑って

もらえたので良かったのですが、涙してもらえなかったのが少し残念に思います」と真剣に話してくれました。

3年A組担任の遠藤先生は、「例年よりも工夫されていてとても面白かった。教員劇は2年連続で昔話だったので、今回は生徒たちと同じように動画を取り入れた現代劇にした。先生方のダンスがなかなか合わず、夜通し練習するなど大変でした」と感想を熱く語ってくれました。

今回の先生方の劇を見習い、来年度の学校祭に活かしてさらに良い劇にしたいと思いました。

1月30日（金）
お世話になった3年生へ予餞会

文責 久保 響己

川柳

短歌

歳月を共に歩んだ雛飾る
 少しだけ期待して待つホワイトデー
 お母さんの味が家族を笑顔にし
 薪を割るそれも技術と自慢する
 旅立ちに涙と笑顔交差する
 母のためごみ分別の親孝行
 慣れた頃終わる麴の袋づめ
 節分の豆をぶつけて鬼退治
 貧困と差別と無知がテロを生み
 壁に耳埋め込んでいる秘密保護

戦争に追はれる如く東京を離れて吾の七十年前
 毎日の散歩欠かさぬ夫ならむ八十二才の腰伸びてゐし
 吾が家に帰るなく逝きませり遺影の前に後悔しきりなり
 集いて夫の七七忌話題の賑やかなりゆくなつかしききて
 松過ぎてようやく亡母の黒豆の味になりきぬ黙って戴く
 薩摩芋ふたきれをもて書一食に替へたり寒もなかばを過ぎて

白桜 薮米 鈴小 小高 米坂
 石 根 森木 池松 木森 田
 花 博 由 義 誠 真 いさ子
 馨 絵 守 樹 豊 希子 美也 弓

本 高 石
 間 木 川
 栞 慶 裕
 風 子 子

平成27年 1 月末現在の 人口	
男	2,377人(-6)
女	2,505人(+4)
人 □	4,882人(-2)
世帯数	2,324世帯(-1)

平成26年度 ふるさと納税寄付金	
1 月分	4,066 件 61,572,201 円
累計	47,395 件 841,932,507 円
※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。	

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



◎今月はウィンターバルーンミーティング取材しました。
 ◎初日は曇一つない十勝晴れの中、色とりどりの熱気球が大空を彩りました。私もオフィシャル機に乗せてもらい、上空から競技の様子を撮影しました。本号2頁に開催概要をまとめていますので、ぜひご覧ください。…S

◎ふるさと納税大感謝祭に行ってきました。僕は3階の個別相談会でセミナー講師として全5回、町の概要についてお話しさせていただきました。親子連れの方も多く、移住や教育のことなど熱心に聞いていただきました。◎3月23日には、子育て少子化対策フォーラムを行います。良い事例も聞けるとお思いますので、ぜひ、お越しください。(P7参照)・・・K